

2013 年 10 月に病院検査で右肺癌の宣告を受けて、ただちに右肺癌の摘出手術を終える。

10 月末に子息が当院・こう庵に転移等の有無の確認で透視依頼にて来院される。

透視結果では、手術した右肺はともかく、胆のう、胆管、総胆管等に新たな癌の反応を発見する。癌の反応は在るものの、検査で発見までは至らない状態だと云うことでしょう。

協議の結果、当院に遠隔療法での胆のう、胆管部位のガン施術を実施することで合意する。

11月9日より一日2回の遠隔療法で開始！

当初、一日2回のペースで遠隔施術を実施するも、病気指数の改善が緩やかであるため、七日後位から一日3回の回数に増やす。

結果、一日2回より、3回の施術が良い結果をもたらし、数値の改善が顕著に表れて癌回復が早まりました。

11月25日の38回目の施術の折、既にガンの反応がなくなるも、後の数回の施術を実施する。結果として40回前でガンの反応が無くなる。

その後の経過でガン再発の反応はなく12月10日現在も同じである。